
忘れていた事

M I S A K O

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
忘れていた事

【コード】
N0534D

【作者名】
MISAKO

【あらすじ】
いつの間にか笑顔の自分が消えていた

10代：上を見て

前を見て

20代：横を見る事

が付加され

30代：後ろを見る

時が始まり

上を見る

事が

薄れてゆく

40代：前も上も忘

れ 下を向いて

る自分に気付く

青い空も夜空の星にも気付かず、まるで暗い道を転ばぬように下を見て、ヨタヨタ歩いているような日々。

時折、振り返ってため息をつく…：

そんな感じ。

何故だろう

歳なんて関係ないのに、気付かない間に大切な時間を捨ててしまっ
てた。

周りのせいにしたたり不平ばかり感じ

一度しかない時間なのに、でも気づけて良かった。

大切に生きる事

治る事のない病と出会い。治療による後遺症が次々と現れ襲いかか
つてくる。

素直じゃない日々。笑顔のない時間。

本当に、もつたいたい事をしてしまったけれど、まだ時間は残っている。

朝、目が覚めたら窓をあけ空をみて夜、眠るまえ又夜空を見上げてみる。

そう…ずっとずっと昔、していたようにすごく気持ちがいやになります。

思い出す

あてもなく夜の街へ繰り出した事。

道端に座り、意味もなくバカ騒ぎ。

始発電車に乗り込む時には、眠気とたるさ、そして又始まる1日に心身ともに重くなる。やな事ばかりじゃないけど

なにか不快感があった。周りの大人の言う事もわかってるけどどうしようもなくヤバイとわかってるけどやってしまう。

そう、それは30年前の私　今以上に世間は狭くて　夜遊びや髪が赤いだけで『落ちこぼれ』の刻印が押されていた。

疎外されてしまう。でもその頃は　上を見て、前を見上げて　どんな事にも真っ直ぐ飛び込んで行ける力があつた。

楽しかったし、メチャクチャだったけどMAXだった。

誰だってこんな時はある。

その壁に当たる事は決して悪い事ではないと思う。

ただ、ひとつ自分の心とカラダは大切に守って行く事。

体のキズは治ると言うけれど、やっぱり治らない事もある。心のキズはもつと治りにくい。

だから大切にしてほしい。

あんなに大きな声で笑ったり叫んだり

今はしない。『当たり前』と言う人がいるけど　違うよね

幾つになってもそうである方が人間らしい。それを出来てる人の方がホントに必要な時のガマンは出来ていると思う。だから今大人もキレる。

皆さん 夜空を見るとホントに気持ちいいのです。

心がサラサラします

そういう、昔は夜空を見て明日の天気を予想したのです。携帯やネットなんてなかったし

近々夕方近くの土手を歩いて夕日を見てみよう。クラブ帰りの夕日
まだ覚えてるけど、又一味違う心への反響がありそうです。

空だけはどこにいてもそばにあるもの

どんな色の空であれ空は空

見上げて大きく深呼吸。心を洗って

前見て、上を見て

生きる

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0534d/>

忘れていた事

2011年1月14日03時52分発行